

認定薬剤師 チェックリスト

氏名 ()

認定薬剤師	チェック	チェック項目	備考	記載根拠
申請書類		薬剤師免許の写し		
		様式8 研修記録		
		様式9 認定薬剤師申請書		
		様式10 推薦状		
		払い込み受領書の写し		
更新手続き		認定期間終了前 1 カ月からの受付であり、更新・変更の生じた日から 1 カ月以内である		2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 6. 4)
薬剤師免許		日本国免許である	薬剤師免許の写し	2-1認定薬剤師研修制度 規程 第3条 (1)
		単位取得集計表の合計が、初回申請で4年以内に40単位以上、更新申請で3年間で30単位以上である	様式7 単位取得集計表	2-1認定薬剤師研修制度 規程 第3条 (2) 2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 2. 1)
		単位取得集計表の各年5単位以上である		
		CPCの他のプロバイダーで取得した単位は、初回申請で20単位、更新申請で15単位以内である		
		学会、学術大会、学術集会の参加証の写しを添付する場合は、KLECの認める学会であり、他のプロバイダーの認定単位が配布していない。また1単位/1.5時間 (1-4単位/1日、6単位/2日、9単位/3日まで) である	様式7 集合研修	2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 3. 1) ①
	集合研修の小計算が合っている			

研修単位

	集合研修小計が単位取得集計表1) 集合研修計と同じである		
	実習研修の参加証の写しを添付する場合は、KLECの認める学会であり、他のプロバイダーの認定単位が配布していない。 また1単位/2時間である	様式7 実習研修	2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 3. 2) ①
	1期の申請に5単位以内である		
	1 単位/4 時間である	様式7 自己研修	2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 3. 3)
	施設部門長押印がある		
	1期の申請に5単位以内である		
	KLECの認める学会である	様式7 学会発表	2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 3. 4)
	学会発表者2単位、共同発表者1単位である		
	講演要旨集の表紙がある		
	講演要旨集の発表情報が掲載されているページの写しがある		
	1期の申請に3単位以内である		
	国立医療学会誌「医療」、複数査読制の国際的あるいは全国的学会誌、学術雑誌への掲載である。	様式7 論文発表	2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 3. 5) ①
	上記主著者2単位、共著者1単位である		
	査読の無い商業誌への総説、解説等の掲載である。		2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 3. 5) ②
	上記主著者1単位である		
	論文の写しがある		2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 3. 5)
	1期の申請に3単位以内である		

		申請者氏名を記載し押印がある	様式8 申請書	
		性別、生年月日の記載がある		
		勤務先名の記載がある（勤務していない場合は無記名可）		
		連絡先が自宅か勤務先か選択し、記載している		
		1取得単位が様式7単位取得集計表の取得単位と同じである		
		2申請日が記載されている		
		3薬剤師名簿登録番号が薬剤師免許の写しと同じである		
		4薬剤師名簿登録年月日が薬剤師免許の写しと同じである		
		5更新の場合は認定薬剤師番号を確認する（新規無記載可）		
		6審査料納付年月日と払込受領証写し年月日と同じである		
		7申請期間延長が要の場合に理由書（自由書式）がある		2-2認定薬剤師研修制度 実施要項 6. 1)
勤務経験		被推薦人が勤務した期間が1年以上である	様式9 推薦状	2-1認定薬剤師研修制度 規程 第3条（1）
		妊娠・出産・入院等前に1年以上の勤務経験があった場合、 過去に勤務されていた所属長の推薦状を提出している		2-3QA Q2-8
推薦状		推薦人の所属施設名、施設部門長の記名押印がある		2-1認定薬剤師研修制度 規程 第3条（3）
暫定処置		平成29年10月21日～11月30日の期間である（消印有効）		2-1認定薬剤師研修制度 規程 認定薬剤師の暫定 措置
		CPCの他のプロバイダーの生涯研修認定制度の認定薬剤師 は、申請時に平成29年9月22日以降の有効な当該認定証の写 しがある。	CPCの生涯研修認定制度 の認定薬剤師の認定証の 写し	

		CPCの他のプロバイダーの生涯研修認定制度の認定薬剤師は、更新中の単位を本制度へ引き継ぐ場合、当該認定薬剤師の更新期間内であれば申請時に他のプロバイダーの単位を記載したノート等を添付している		
--	--	---	--	--